

単元名：

2人の気持ちの変化から読む
「お手紙」
(全○時間扱い中 第3時)

授業日時 2021年10月15日(金)第3校時
授業学級 2年2組
授業会場 2年2組教室
授業者
指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

第2場面のかえるくんの気持ちを知りたいと思っている子どもたちが、第2場面の大きいそぎで家に帰ってがまくんにお手紙を書いたかえるくんの心情を考える場面で、「大きいそぎで」、「とび出しました」、短い叙述や挿絵に注目することを通して、がまくんを早く喜ばせたいと一生懸命になっているかえるくんの心情に気づき、第2場面でのかえるくんの心情、第1場面から第2場面でのかえるくんの心情の変化を読み取ることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 前時の復習をする。	「かえるくんとがまくんは悲しい気分でした。」 「がまくんにお手紙を書くこと。」	「第1場面で、かえるくんとがまくんはどのような気持ちでしたか。」と問う。 ※【電子黒板】を用いて挿絵を表示する。 「かえるくんが思いついた、しなくちゃいけないこととは何でしたか。」と問う。 ※どこの叙述からそれを読み取ったのかまで確認する。	3
	【学習問題】かえるくんの気持ちや様子を考えよう。			
	2. 第1場面と第2場面の音読をする。	「第1場面は昨日学習したことを活かして読んでみよう。」	「第1場面と第2場면을音読してみましょう。」と言い、内容を思い出すことを含め、音読をする。 ※音読の前に第1場面と第2場面がどこなのかは提示する。	3
	3. 授業のゴールを確認する。	「第2場面でのかえるくんはどのような気持ちなのだろう。」	「かえるくんの行動に注目してかえるくんの気持ちを考えよう。」	2
	【学習課題】「大きいそぎで」、「とび出しました」、短い叙述や挿絵に注目してかえるくんの気持ちや様子を考えよう。			
展開	4. かえるくんの家に帰ってからの行動から心情を考える。	「早くがまくんにお手紙を書きたいから。」 「がまくんを元気づけたいから。」 「悲しんでいるがまくんにお手紙を書いて喜ばせてあげたい。」	「かえるくんの気持ちが分かる部分ってどこだと思う。」と問い、展開に入っていく。 「なぜ、かえるくんは大きいそぎで家に帰ったのでしょうか。」と問い、「大きいそぎで」と「いそいで」の意味を比較しながらかえるくんの心情を考える。【③の挿絵】	12
		「鉛筆と紙を見つけました。 紙に何か書きました。 紙を封筒に入れました。 封筒にこう書きました。」 「急いでいるように感じるな。」	「かえるくんは家に帰ってから何をしましたか。」と問い、児童と時系列に沿ってやったことを確認する。 ※短い叙述が続いていることとつなげた文を比較することからも急いでいる様子が受け取れることをおさえる。	10
	5. 会話文を取り上げ、誰が話しているのか確認する。	「かえるくんです。」 「かたつむりくんです。」 『がまくんへ』はかえるくんが言った言葉でなくて、手紙に書いた言葉です。」	「これは誰が言っているセリフなのかな。」と問い、誰のセリフかを確認する。 ※「がまがえるくんへ」は会話文ではないこともおさえる。	10
	6. かえるくんが家を飛び出してからの行動から心情を考える。	「早くがまくんにお手紙を届けて欲しいと思っている。」 「早くがまくんを喜ばせたいと思っている。」 「がまくんと一緒にお手紙が届くのを待っていたかったから。」 「わくわくしてもらいたいと思ったから。」	「家を飛び出した時のかえるくんの気持ちを考えよう。」と言い、「飛び出しました」と「出ました」の意味を比較しながらかえるくんの心情を考える。【④の挿絵】 「なぜ、かえるくんはかたつむりくんの手紙を頼んだのでしょうか。」と問い、かえるくんの心情を想像する。	
終末	7. まとめと学習の振り返りをする。	「かえるくんはがまくんのことをいっぱい考えていたことが分かった。」	「第2場面でのかえるくんの気持ちをまとめよう。」と言い、まとめをする。	5
	【本時の評価(評価する対象)】 第2場面でのかえるくんの心情、第1場面から第2場面でのかえるくんの心情の変化を読み取ることができる。(ワークシート)			